

取材店 富士屋マーケット
 住所：熊本市南区川尻4-6-40
 TEL：096-357-9171 営業時間：9時～18時
 休業日：日曜、祝日 駐車場：2台



富士屋マーケット名物
「コノシロ寿司」¥550 (税抜き)



【左】写真左から3番目が代表の岡本晴實(オカモトハルミ)さん。お惣菜を作っているお母さんと常連さん。【右】店長の岡本誠也(オカモトセイヤ)さん。

『い らっしゃい!』と元気な声で迎えてくれるのは、代表の岡本晴實(オカモトハルミ)さんと店長の岡本誠也(オカモトセイヤ)さん。

店内にあるお客さん用ベンチに座り、セルフサービスのお茶を飲みながら常連客といつもの世間話。あたたかく、とても居心地のいい空間。

お店には料理担当のお母さん達がお惣菜をはじめ、毎朝仕入れた新鮮な魚・肉・野菜がずらりと並んでいます。

僕のオススメは創業から味もそのまま「コノシロ寿司」(¥550税抜き)です。新鮮なコノシロにあっさりとした酢飯。生姜がアクセントになっていて、一口サイズがとても食べやすくとっても美味しかったです。「うちはお客さんが一番です!」という晴實さん。お惣菜の味付けは、お客さんからの要望があればその都度調整しているそうです。「また来るね!」とお客さんからの一言を聞いた時に、「お店をして良かった!」と心から喜びを感じると話します。

地域に愛されるお店を目標に今日も富士屋マーケットは元気に営業中!

川尻お寺deフェスタ5

記者 川尻お寺deフェスタ代表 金井俊行 (7町内)

川尻お寺deフェスタに日頃よりご理解ご協力ご支援を賜り感謝申し上げます。また台風、水害等の災害によりお亡くなりになった方々に心よりご冥福をお祈り申し上げますと共に、早期復興をお祈りいたします。また先月焼失しました首里城の復旧も重ねてお祈り申し上げます。

さて来年2020年3月15日に「川尻お寺deフェスタ」の開催が決定いたしました。今年3月に開催しました川尻寺フェスは、平成最後ということもありテーマを「結〜むすぶ〜」とし、地域とお寺・人と人を結ぶことで川尻の地域振興の一端を担えればとの思いのもと行いました。またテーマが「結〜むすぶ〜」という事で、お寺de婚活を初めて開催いたしました。

そこで来年3月の川尻お寺deフェスタ5はテーマを「合」とし、各

宗派が手を合わせて協力し、地域とお寺・人と人が手を取り合い、協力し合いながら、今回の川尻寺フェスを作っていこうと思っております。また今年起こった災害からの復興に、少しでも協力できるようなことも行えていければと思っております。

また今回も荒木直美さんをコーディネーターに迎え、お寺de婚活を開催する予定です。特別企画としては、好評でした「三途の川川下り」や、「もっこすファイヤーと寺めぐり」も同時開催を予定しております。

合掌の精神をもって実行委員会一同精進して参りますので、地域皆様のご理解ご協力ご支援を頂ければと存じます。

合掌

詳しくは<https://www.facebook.com/kawasiriterafes/>

編集後記

早いもので令和元年最後の河陽新聞となり、リニューアルして第三弾となりました。この河陽新聞も川尻校区自治協議会の広報誌として徐々に浸透してきたのではないかと感じております。なぜかという先日居酒屋で河陽新聞の話をしてたところ、その大將に「自分たちが作っているとね、面白か内容ね」と声を掛けてもらいました。また毎回ご指摘やアドバイスをいただきながら改善に取り組んでいます。その一つとして回覧版で回覧しやすくするために、折りたたんでA4サイズとさせていただきます。そして自治協議会内の団体である防犯協会と川尻小学校愛育会による対談形式の記事にもチャレンジ

してみました。対談には入れておりませんが、防犯協会の牛嶋さんが青パトでパトロールをしている時に怪我している子どもを見つけて、青パトに乗せて子どもの家に届けてくれたことがあるそうです。そのような素晴らしいことが普段の川尻校区で起きていて、また非行や痴漢、誘拐などの犯罪の抑止につながっているのだと痛感し、少しでも多くの人に知ってほしいと思ひ後記のなかで紹介させていただきます。今後も川尻校区に住む人にとって楽しく、身近な存在になれる新聞にしていこうと思っておりますのでよろしくお願いたします。

読者プレゼント

大人気のプレミアムポップコーンを30名様にプレゼント!

「河陽新聞」をお読み頂きありがとうございます。前号に続き、「サブリールポップコーン」(代表は8町内 佐分利太介さん)のからし蓮根風味ポップコーンを抽選で30名にプレゼントいたします!

ご応募は kayou.shinbun@gmail.com

に氏名・住所・連絡先・今号の感想を記入してメールしてください。当選者の方にはご案内を返信いたします。(商品は手渡しになります。詳細はご当選者様にお送りします)



平成から令和へ。川尻の“いま”を伝えます

河陽新聞

Vol.28
2019.12.7
KAWASHIRI AREA
NEWSPAPER
KAYOU SHINBUN

川尻の安全を守る!
“ラックルぱと”たんじょうお祝い



出発式に参加された方々とラックルぱとの記念撮影



ラックルくんも大興奮

特別対談

森 長浩さん (川尻小学校愛育会会長) × 牛嶋一寶さん (川尻校区防犯協会)

森会長 防犯協会の川尻における現状と役割とは?

牛嶋会長 防犯協会は38名でパトロール隊員が11名、毎週一回水曜日に小学校の下校に合わせてパトロールをしていて、特に意識しているのは雨が降ろうが風が吹こうが窓を開けて、いつでも人助けができるように準備しています。

森会長 今回なぜ青パトを“ラックルぱと”と名付けたのでしょうか?

牛嶋会長 もちろん学校からの希望ではなく、ラックルくんとコラボすることでもっと子どもと親しんでほしいからです。そうすることで、中学高校になっても青パトが身近な存在となり、その子どもたちが青ぱとの運転手として後継者にもなってくれたら最高ですね。

森会長 ラックルくんは学校を守るだけでなく、地域を守る存在になるわけですね(笑)

牛嶋会長 そして音楽も流しながらパトロールするので、地域住民にも安心への気づきとなりますね。

森会長 川尻小学校の子どもたちやお父さん、お母さんへメッセージをいただけませんか?

牛嶋会長 お父さんでもお母さんでも“ラックルぱと”に乗っても

らい、地域みんなで守るとうれしい。そして“ラックルぱと”を見かけたら、「こんにちは〜」とあいさつしてほしい、そうしたらラックルくんがもっと守ってくれると思います。



真剣に熱く対談する森会長(左)と牛嶋会長(右)

10月19日(土)に川尻公会堂にて「青色防犯パトロールカー出発式」が警察関係や自治体や川尻校区自治協議会の関係者が集まるなか開催されました。その後川尻小学校に場を移し全校生徒や保護者の見守る中“ラックルぱと”たんじょうお祝いが開催され、その後校長室にて石塚雅浩校長先生の見守るなかインタビューが開催され、川尻校区の安全のために非常に重要な一日となりました。

川尻校区を守ってくれる川尻交番の3名の警察官。左から中田部長、小谷巡査部長、満井巡査



まちづくり放浪記③

京都ゲストハウス編



記者 益本 武士 (7町内)

みなさん、ゲストハウスという言葉をご存知でしょうか。最近民泊という言葉とともに宿泊の新しい形として外国人を始めとして徐々に浸透してきております。特に都市部や観光地に多いということで、わたくし体験するチャンスを一ひっそりと伺っていたところ、先日京都に出張する機会があり自腹で前日入りしてゲストハウスを体験してきました。

京都駅から歩いて15分程度、京都水族館の近くにある「はる家 梅小路」というゲストハウスに宿泊することにしました。築100年の古民家をリノベーションした趣もありつつもモダンな佇まいは京都の街なみにマッチしていました。そして料金はなんと3,760円で事前に入金が必要となり現地ではキャッシュレスとなります。到着するとまずフロントで施設や宿泊について説明を受け、カギを預かり各部屋に泊まるとのことで、ワクワクしながら部屋に向かいました。部屋を開けるとそこには2段ベッドが2つと保管BOXが設置されているだけでシンプルな和風空間で、寝るスペースと貴重品を管理するスペースを借りるイメージです。トイレと個室シャワールームは共用でした。その日自分は中国の旅行者と少し話すことができましたが、その他2名とはカーテンが開くことなく結局合わないまま過ごしました。

現代版のユースホステルというのでしょうか、プライベートを大事にしている人にはちょっと辛いかもしれませんが、交流したい人やコスト面を優先する人にとっては使い勝手がいいと思います。



日本最古の花街と言われる「島原」は島原の乱から名付けられたとか

翌朝は午前中しか時間がないうちに、母屋に準備されたお粥をいち早くいただき6:30から歩いて新選組ゆかりの壬生寺、八木邸、前川邸や角屋や京都の町屋を見学したあとで、バスに乗り込み池田屋騒動跡地に行って京都御所見学という文字通り駆け足で散策しました。しかし銃弾の跡や刀の跡など見るのができ素晴らしい経験でした。その後ちゃんと仕事もさせてもらいました(笑)

川尻校区にも京都にも負けないくらいの西南戦争本陣跡地やお寺、そして船着き場、米蔵など歴史・文化・史跡がたくさんあるので、ゲストハウスを作って観光客や旅行者に泊まってもらい一日中川尻を楽しんでくれたら素晴らしいと思った今回の放浪記でした。



【左】川尻にもありそうな古民家のゲストハウス「はる家 梅小路」
【右】ベッドと保管BOXを借りるイメージです(笑)



新選組の本拠地としていた壬生寺



熊本藩士 宮部鼎蔵が新選組に襲撃され自刃したとされる池田屋騒動跡地



京都御所で起きた禁門の変の最激戦地である蛤御門に残された銃弾痕



城南中学校の生徒会長が交代しました。そこで旧生徒会長と、新生徒会長から一言コメントを頂きましたのでご紹介します。

僕は城南中学校をさらに活発な学校に行きたいです。その為に挨拶運動や、着席タイムの徹底など色々な活動を行っています。

新生徒会長
2年 中元 康介 (8町内)

学校の生徒代表とならせていただいたこの約1年間は多くのことを経験し、出来る限りのことはやってくれたと思っています。また、私にとって大きな実となり多くの事を学んだ1年間でした。城南中学校生徒会会長となれて本当に良かったです。ありがとうございました。

旧生徒会長
3年 金井胡実 (7町内)

公会堂運営委員



記者 公会堂運営委員 古川 亮 (10町内)

10月26日(土)川尻小学校緑の少年団17名が川尻公会堂へ宿泊することになった。公会堂に泊まるのは初めてではないだろうか？

公会堂の宿泊の目的は「～地域での自然体験活動を通して～」という目標であった。まずは、宿泊する建物の「公会堂の事を知る」から始まった。地震で被害にあった公会堂を取り壊して新築という選択をせず、改修したのか？築90年の建物は大丈夫なのだろうか？どういう造りになっているのか？どのように地震に耐えたのか？被害にあったものをどう風にしたのかを床下や屋根裏を探索し、目と体でどう建物かを体感した。

次に、今年から「川尻精霊流し・花火大会」の事務局が公会堂になったこともあり、川尻精霊流しの募金箱が置かれていた。この貯金箱は年々運営が厳しくなっている精霊流しを少しでも助けようとつくられたもので、川尻の商店などに設置される。しかし、見た目が寂しかったので、子供たちが各々の思いを込めて着色を行った。400年の歴史のある精霊流しを今後も傳承していくには必要であり、色々な形で協力し合い、地域全体で精霊流しを受け継いでいければ最高ではないだろうか。見かけた際にはぜひご協力をよろしくお願いいたします。

夜はお楽しみ夜の夜ご飯です。宿泊の定番と言えば、カレーライス！みんなでカレーをつくり、自分のできることを担当し、みんなで作り上げたカレーをみんなで食べる。家で食べるカレーとはまた違う美味しさのカレーだったのではないだろうか。その後は、昼間と違う夜の公会堂を楽しんだのではないだろうか。

翌朝は船着場でラジオ体操を行い、公会堂への帰る時に地域の方が清掃活動を行っていたので、みんなで手伝うことにし、地域の方と交流しながら落ち葉拾いや草取り、ゴミ拾いをした。

川尻校区自治協議会 活動報告書

南部まちづくりセンター

私たち南部まちづくりセンターは、南部地区(川尻・城南・日吉・日吉東・力合・力合西校区)のさまざまな課題解決に向けた取り組みを支援するための拠点として平成29年4月に設置されました。

南部まちづくりセンターには地域担当職員が3名配置されており、南部地区の相談窓口や情報収集、行政情報の発信、地域コミュニティ活動の支援などの役割を担いながら、地域ニーズを把握し区役所関係課や本庁関係部署と連携して地域の課題解決の支援を行っています。

そういった支援の一環として、地域の世代間交流を図るために南部地区の民生委員や交通安全指導員など子どもの見守りをされている方々と小中学生が1対1で語り合う「トークフォークダンス」や、地域の中でも特に関心が高い「防災」をテーマとしたワークショップや講習会等を開催しています。

また、川尻公会堂の管理・運営についても川尻公会堂運営委員会と協力して行っています。



子供たちの感想

- ◆みんなで分担して活動した後のカレーは何よりおいしかったです。
- ◆公会堂はリニューアルしていて、とても歴史のある施設だと思いました。日本の建物はすごいことがわかりました。
- ◆学校の社会の授業では資源がないと習ったけど、竹や藁などの資源は沢山あることがわかりました。
- ◆募金箱の色塗りが心に残りました。好きな花の絵を描きました。お金が集まるといいな。
- ◆川の近くにラジオ体操をしに行った後、草取りを手伝って川尻の役に立てて良かったです。

公会堂を知り、町のお手伝いをし、奉仕をすることで、川尻町と密に関わった1日になったのではないだろうか？町の交流の拠点の一つである公会堂を色々な使い方で、町と人、人と人のつながりの場になればと考える。

募集！ 公会堂の管理人を募集しております。
 時間：9：00～17：00 (夜間利用がある場合は22：00まで)
 休日：火曜日、祝日 業務：受付、管理、清掃等 募集人員：1名
 交代制で運営するので、上記の時間すべて勤務する必要はありません。
 詳細は下記に連絡ください。募集期間は令和2年1月までとします。
 川尻公会堂 (090-1165-3982)

- 主な活動
- 1.地域の相談窓口
 - 2.地域情報収集・行政情報発信
 - 3.地域コミュニティ活動支援

南部まちづくりセンター
 住所：熊本市南区南高江6丁目7-35
 TEL：096-358-1877

